

プレスリリース

平成13年7月4日
生産局畜産部衛生課

ギリシャにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について

- 1 7月4日、国際獣疫事務局（OIE）より、ギリシャ国内のと畜場での検査の結果、同国北部キルキス県の農場で飼育されていた牛1頭において、牛海綿状脳症（BSE）の発生が確認された旨の情報を得た。
- 2 従来より、ギリシャからの偶蹄類の動物（牛、豚、めん山羊等）及びこれらの肉、臓器、加工品並びに精液、受精卵等については、昭和26年以降、家畜伝染病予防法により輸入禁止となっている。
- 3 また、ギリシャを含むEU加盟国については、我が国へのBSEの侵入防止に万全を期す観点から、平成13年1月以降、BSEの発生の有無にかかわらず一律に牛肉、牛臓器及びそれら加工品等の輸入を停止しているところである。
- 4 今後とも情報収集に努めるとともに、同病の侵入防止に万全を期すこととしている。

問い合わせ先
生産局畜産部衛生課
代 表：3502-8111
（内線4046）
夜間直通：3502-8388
担 当：伊藤、林